

令和6年度 第1回学校運営協議会

○7月10日（水）15：30～16：50 場所：会議室

出席者 協議委員：若林 新海 三浦 森 伊丹

事務局：大石 高田 中川貢 荒木

次 第

- 1 校長挨拶
- 2 協議会委員・事務局紹介と資料確認
- 3 会長選出 → 若林委員を会長に選出 新海委員を副委員長に選出した。
- 4 協議

（1）令和6年度学校経営計画及び令和5年度学校評価報告書について

・R5 年度について、GLHS は4期め3年め、SSH 校指定3期め4年めの年であった。まずは令和5年度の学校評価として、取組み内容及び自己評価について順にご報告させていただきたい。授業に関して、授業アンケート項目9の授業理解度を指標として、各学年いずれも高い水準を維持できているが、基礎学力のより一層の定着を図るため、これまで行っていた「振り返り」から「解き直し」を各教科で取り組んでいる。令和5年度から生野高校として必要な基礎学力を測るベーシックテストを実施しているが、このスモールステップとして、プチベーシックテストを令和6年度から導入している。

また、海外研修や校内で行う校内留学などは高い満足度を維持しており、今後も継続していきたい。英語検定2級の取得については、英語力の指標としては取得者の英語力の幅が大きすぎるために不向きと判断し、より英語力の変容が実感できる TOEFL Junior を令和6年度から導入した。

そして、進路指導として、大阪大学見学会を令和4年度から実施しているが、「大阪大学」にこだわっているわけではなく大学そのものへの関心を高める取組みとして実施し、その効果は大きいと考えているので今後も実施していきたい。

また、GLHS として進学実績を強く求められているが、大学進学率の数字にのみとられることなく、子どもたちの「進路納得度」を評価できるような形を整えたいと考えている。

GLHS の評価指標ともなっている外部発表等へのエントリー数については、これまでより大きく改善し表彰数も増加した。

続いて、令和6年度の学校経営計画については、さきほどご説明した改善点等を反映したものになっている。令和5年度までに積み上げてきたものをさらに積み上げ、また改善が必要な

ものは改善をしながら進めていきたい。一方で教職員の働き方改革にも力を入れていかないといけないところは令和6年度だけではなくこれからの課題である。

今年度からは、学校が地域の拠点となるよう近隣の小中学校と連携した取り組みを行っていきたい。出前授業はすでに実施している取り組みだが、これを松原市を重点として進めていくとともに、セーフコミュニティ国際認証都市である松原市の取り組みと学校が共同した取り組みが実施できるよう松原市、松原中学校にはご協力いただきたいと考えている。また後程改めてお願いしたいのでよろしくお願いいたします。

- 補足として、学習習慣の確立を目的として、部活動を行わない年間10回の「土曜学習日」を設定している。特に1年生をメインターゲットとして、HR教室を開放して学校登校日と同様の生活リズムを維持しながら、学習できる体制を整えた。
 - 土曜学習日の設定ということだが、働き方改革という観点から勤務時間の削減に結びつけにくいと思われるが、どのように考えるか。
- 仰る通り、週休日に勤務することは働き方改革とは逆行している部分もある。しかし、土曜日に出勤される先生方にとっては、勤務として扱うことが可能となることから振替休の取得も可能になり、必ずしも逆行しているとは言えないと考えている。今年度の学習時間調査等を通して、この「土曜学習日」を検証して継続か否かを検討する方針である。
 - 子どもにとっては、土曜学習日は有難いとの声もある。継続可能であれば継続していただきたい。
 - 子どもの話だが授業で動画を見せているだけで授業をしていない先生がいると話があった。事実かどうかは判断できないが、実態はどのようなものか。
- 動画を見せて授業を行う反転授業も一部教員で行っている。理科の実験授業などで行われることが多い。
 - 動画を見せる意味や授業の中での位置付けが生徒と共有されていないために、このような子どもの感想となってしまうと考える。先生方は動画を見せるという行為だけではなく、意味付けを生徒にいかにして伝えるかが重要でないか。
- 授業改善のための貴重なご意見をいただき、ありがたいと思う。
 - 授業アンケートでは理解度が高い数値を維持しているにも関わらず、「現在行われている授業に満足し勉強することが楽しいと思える」という数値が70%台と低く出ている。この理由としては、おそらくいわゆる講義型の授業が行われていることが多く、探究的・対話的な授業がまだまだ不十分であると考えている。実態はどのようなものか。
- まさしくその通り。その点の授業改善が課題である。探究的・対話的な授業も一部では実施しているが、そのような授業をこれからもっと広げていきたい。

- 生野高校において、学習習慣の定着が課題となっていることに驚いた。中学校からの視点では進学後には当然学習しているものと考えていた。中学校でも学習習慣の定着は課題になっている。
- 松原中学校は生野高校と地理的に非常に近くに位置しているが、生野高校への進学は多くないのが現状である。地理的には近いが遠い存在になっている。さきほどの地域連携に関しては、是非こちら（松原中学校）からもお願いしたい。早速であるが、生野高校生が松原中学生への学習をサポートするなどをしていただければ、中学校にとってはもちろんありがたいので、また後日改めてこちらからもお願いしたい。
- 生野高校にとっても改めて「教える」という行為によって基礎学習内容が整理される。発信することやコミュニケーションの面でもメリットも大きいので、良い取組みではないか。
- 非常にありがたいお話であり、是非実現に向けて進めていきたい。
 - ところで、「進路納得度」については、どのような指標で測る計画か。
- 卒業後の進路アンケートに追加する形で実施したい。具体的な質問項目としては検討しているところである。自分自身の進路を納得して進むことが最も大切なことだと考えている。浪人も納得できていればそれも良しとし、そのことをも評価できるものを構築したいと考えている。
 - 学校教育自己診断について、「後輩に勧めたい」の数値が低下傾向にあるが、改善の方法について、どのように考えているか。
- こちらについては特にみなさまのご意見を賜りたい。
 - 進路指導として、地方も含めた国公立大学をめざすという方針を打ち出していることは理解しているが、保護者にとって地方の国公立大学はまだまだ未知なところが多い。一人暮らしのうえに学費がかかることへの経済的不安もあり、地方の国公立の良さについて、もう少し学校から保護者に説明する機会があれば良いと思う。保護者としての納得が、子どもにとっての安心にもつながりやすい。子どもの志望を応援してあげられるような情報があればなお良いと考えている。
- 地方の良さについては、子どもたちには伝える機会はそれなりにあるが、保護者への説明機会はそんなには多くない。ご意見を踏まえて改善を図りたい。
 - 引き続き進路の話になるが、京阪神を中心に目標を設定するような指導が行われている。それ以外の大学をめざす、京阪神をめざせない子どもたちは、自分自身を否定的に捉えることもあるのではないかと。私学を志望する子どもたちも同様であると思われるが、どのようなお考えか。
- 目標を高く設定することが、学習効果にもつながりやすいという結果が出ている。もちろん私学志願者を否定しているわけではない。国公立をめざすことが私学をめざすことを内包している。

逆は対応できない。学年全体への話などではどうしてもそのような話になってしまうが、クラス単位や個人単位の懇談等では個々に応じて担任から十分フォローすることが大切であると考えている。

⇒ 特に計画そのものには、異議はない。(承認)

(2) GLHSの取組について

- GLHS 10 校の評価詳細については、公開予定なのでそちらを参照してほしいが、大きな改善点は、外部発表の取組みである。進学実績については、10 校の学校名を除いた資料を参考にしてほしい。数字のうえでは、他校と比べて低い数値があることは否定できないが、現役の生野高校生は本当によく頑張っている。さきほどにもお話したように結果のみに一喜一憂するのではなく、生徒 1 人ひとりの納得ができる進路指導をしていきたいと考えている。

→ 特に質問等はなし

(3) SSHの取組について

- さきほどと重なるが、外部発表については特に力を入れてより多く参加することができた。そのおかげで入賞数も増えたことは喜ばしい。また、SSH 活動の土台となる「探究」については、領域を横断する「学際的」探究班を作って発表するなど、前進しているところである。探究Ⅱについては、ゼミ・スタンダードと分けることなく、全員が研究発表を行ういわゆる形をこれから構築していくところである。

→ 引き続き第Ⅳ期申請に向けて頑張りたい。

(4) 来年度の教科書選定について

- 教科書選定については、学校運営協議会という外部の視点でどのような教科書が選定されているかご覧いただきたい。進学者の多い学校では使用している教科書は大きく変わらないが、一度ご確認をお願いしたい。

→ こちらの教科書で問題ない。(承認)

(5) 今後の生野高校のあり方について

- さきほど(1)のところでお話をいただいたように、地域とのつながりをもった取組みを前進させていきたい。

→ よろしく願います。

5 事務連絡

次回予定 月 日（ ） 15：30 ～ 17：00

（例年は 11 月初め頃） 11/5（火）～ 11/15（金）あたりでどうでしょうか。

・改めて後日メールにて調整させていただく

（資 料）

- 1 大阪府立生野高等学校学校運営協議会実施要項と委員名簿
- 2 令和6年度学校経営計画および令和5年度学校評価報告書
- 3 令和6年度入試結果
- 4 令和6年度 SSH 実施計画書
- 5 令和6年度使用教科用図書選定報告書